

利根浄化センター

第一期工事竣工に寄せて

上下水道の完備は、近代生活にとって欠かせない要件であり、急速に都市化しつつある地域の生活環境整備の促進を図るべく建設された、霞ヶ浦常南流域下水道建設の第一期工事が、ここにつつがなからお祝いし、喜びを申し上げます。

顧みれば、昭和四十七年秋当町に終末処理場建設を受諾したことは、もちろん当町が筑波研究学園都市より、利根川に至る最短の地点であるという理由ではありますが、第一には、県が当面する重点施策である霞ヶ浦の汚濁防止に積極的に協力すること。第二には、国家的大事業である筑波研究学園都市の早期建設を念願すること。第三には、県南地域の開発を促進させることに協力すること。

また、内部的には、当町公共下水道建設の促進を図ることであり、これらの理由の下に当町内の建設を受諾いたした

利根町長 小島栄一郎
たのであります。

浄化センターの建設に当たり、きわめて短期間に実に三十有ヘクタールの用地買収が円滑に行われ、また、シールド工法による地盤沈下、家屋傾倒、薬液注入による諸問題も円満に解決されましたことは、関係地主各位の理解と協力の賜であり、衷心より深く感謝の意を表する次第であります。

このご協力を長く後世に伝えるため、地主各位のご芳名をきざみ、浄化センターの地下深く「タイムカプセル」に

おさめてまいりました。浄化センター建設完成に伴い、やがて当地域に公共下水道が整備されますが、私は当地域における公共下水道には三つの大きな意義があると思っています。

第一には、汚水がすみやかに処理されることよって、環境衛生の向上が図られ、全世界が水洗便所化することにより、地域住民が、快適な生活を享受することあります。第二には、農業経営面からの下水公害を排除し、当地域産業の基幹である農業振興を助長させることあります。

第三には、その動きがみられておる大規模住宅団地造成を積極的に促進させることあります。

これらの意義をもつ関係市町村の公共下水道が一日も早く整備されますよう祈念するものであります。

やがて数年後、いたるところの水路は清浄化し、河川はよみがえり、豊かな利根根にはぐくまれ、水と緑に恵まれたよな環境を誇ったわが郷土が再び住時の姿に還えるであろうことを確信し、お祝いのことばといたします。

* * *



▲霞ヶ浦常南流域下水道第一期建設工事竣工式が6月16日利根中学校体育館で行われました。写真は同日竹内県知事より激励を受ける小島町長。

とねまちプレイバック

昭和51年7月発行の「広報とね」には、「浄化センター第一期工事竣工に寄せて」と題した記事が掲載されています。式典では利根中学生による作文発表が行われ、将来への思いを込めたタイムカプセルが埋設されました。

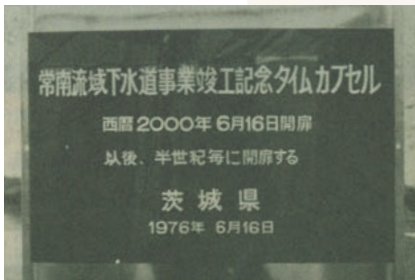
このタイムカプセルは、平成12年に一度目の開扉式が行われ、児童作品など中身の一部が取り出されました。その後、平成13年には一部中身を入れ替え、再び埋設されました。

そして令和8年2月18日、再び開扉され、内部からは当時の児童作品や関係資料などが取り出されました。

現在、これらは可能な限りご本人へお返ししたいと考えていますが、まだお渡しできていないものがあります。お心当たりのある方は、ぜひご連絡ください。

とねまちプレイバック

昭和51年7月発行
広報とね



【対象の方】
平成3年4月1日から
平成4年3月31日生まれの方
当時の町内小学4年生
【問い合わせ】
利根町役場 生活環境課 下水道係
☎ 68-2211 (内線 233)

人口と世帯 (令和8年4月1日現在)	
総人口	15,507人 (- 158)
男性	7,717人 (- 81)
女性	7,790人 (- 77)
世帯数	8,044世帯 (- 118)

() 内は前月比

【5月の納税等】 ※納期限および口座振替日は6月1日です。
軽自動車税：全期